

Support

No. 4

平成22年10月15日

編集・発行

学校支援課 広報担当

<http://www.city.niigata.jp/info/gakusi/>

全国学力調査とステップアップWeb

今年度の全国学力調査で、特に新潟市の課題となっている設問は、以下のとおりです。各校の結果をぜひご確認ください。

1 小学校国語

- 国語A 設問3 物語の登場人物の関係をとらえて書く
国語B 設問2-(1) 物語を読んで、指示された部分についてあらすじを書く

2 中学校国語

- 国語A 設問3-1 演説の話し方の特徴として適切なものを選択する
国語B 設問2三 資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く

3 小学校算数

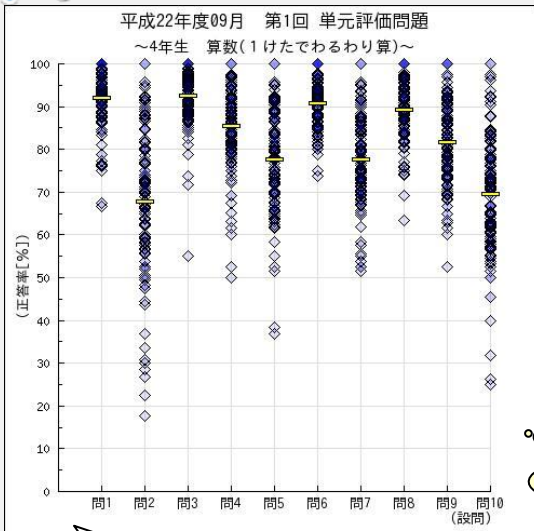
- 算数A 設問1(6) 加法と乗法の混合した計算「 $50+150\times 2$ 」
算数B 設問6(2) 円周の一部と直線の長さの大小の正しい記述を選び判断のわけを書く

4 中学校数学

- 数学A 設問11(1) 変化の割合を求める
数学B 設問2(2) 連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを証明する

※区ごとの研修会では、上記の設問の結果を基に授業改善の在り方を考えていきます。

STEP 配信 Web 配信



入力ありがとうございました。
9月の4年生のグラフです。

実態が分かった！
さあ、どうする？

習得ができてない！
どんな手を打つ？

定着がいまいち…
授業を工夫しよう！

【ステップアップWeb担当者から】
9月の配信期間中に、何件か問い合わせの電話をいただきました。多くは、子どもたちへの指導に関するものでした。そして、ステップアップWebに関する訪問の要請もきています。このWeb配信は、左の結果を受けて自校の課題を把握し、重点化した指導をどう進めていくかが鍵となります。ただし、その活用方法に特効薬はありません。まずは、「どの子どもも分かる・できる」を目指し、各学校の実情にあわせて試行していただきたいと思います。今後、情報の収集に努めながら、実践事例を紹介していきたいと考えています。



特集1 学籍に関するQ&A

3年ごとに行っている学籍事務説明会を7月5日に行いました。その際、配付した「学籍事務説明会説明資料」は保存版です。確実に保管して活用してください。今後出される学籍にかかわる通知なども一緒に保存しておくとう便利です。

以下は、説明会後に寄せられた質問と回答で周知願いたいものです。

Q1 指導要録の保存起算日はいつですか？

A1 新潟市立学校文書取扱規程が平成22年4月1日に示されました。これにより、指導要録も完結した日の属する年度の翌年度の6月1日が起算日になります。これは出納閉鎖期日から決められたものです。廃棄日は6月1日以降に設定してください。

※説明会資料の
P.23は訂正です。



Q2 市立幼稚園でも海外からの一時帰国の際に体験入学ができますか？

A2 体験入学はあくまでも義務教育において行われるものです。市立幼稚園においては原則行いません。

Q3 指導要録の様式は変わるのですか？

A3 評価の観点が変わった教科や英語活動の評価など変更点があり、文部科学省から参考様式が示されました。10月12日の教育課程説明会の際に見本を配付しました。小学校は、23年度の指導要録の様式について年内に確実に検討してください。

<連絡>

23年度から順次使用が開始される新潟市の小学校児童指導要録・中学校生徒指導要録・特別支援学校（小学部児童、中学部生徒）指導要録の様式を、エクセルファイルで11月末までに各学校にメール送信します。

10月12日の教育課程研修会での内容を受け、各校で具体的に検討を始めてください。

○各学校で検討することは・・・

- ①各教科・外国語活動の
予備欄への記載事項
- ②特別活動の記録の評価の観点
- ③行動の記録の評価項目
予備欄への記載事項

中学校でも
早めの検討を
お願いします。



文部科学省は、今後さらなる指導要録電子化推進の方針を示しています。

これを受け、新潟市教育委員会も電子化について検討を進めています。決定事項は随時お知らせしていきますので、今後の情報に留意して、適切な対応をお願いします。

特集2 不登校未然防止中学校区プロジェクト

平成21年度 不登校者数

101人減少し、4年前並みに!

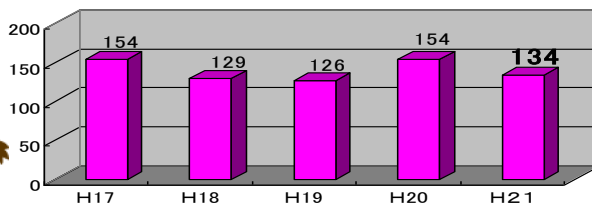
小学校の不登校児童数は、20年度に比べ20人の減少でした。

平成17年度からいったん下がり、その後また増えていたのですが、平成18年度と同程度になりました。

発生率も、0.04%下がり、全国平均の0.32%と同程度の0.31%になりました。



小学校(人数)

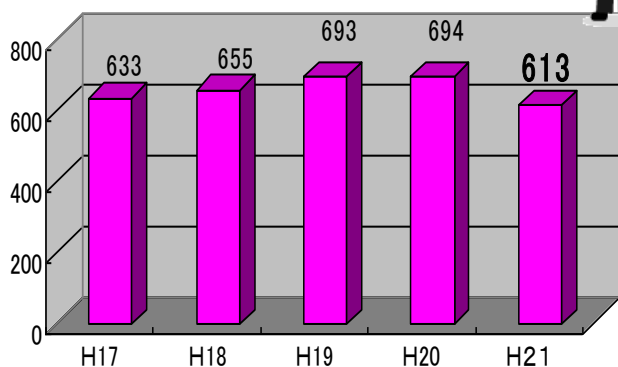


中学校の不登校生徒数は、20年度に比べて81人減少しました。これは、17年度と同程度の数です。

発生率は0.3%下がり2.82%になりましたが、全国平均の2.77%に比べまだ高い状態です。

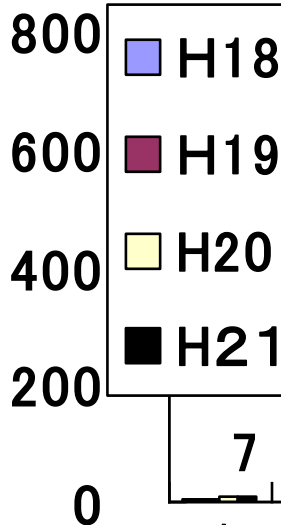


中学校(人数)



これまでの各小中学校での取組の成果です。ありがとうございました。

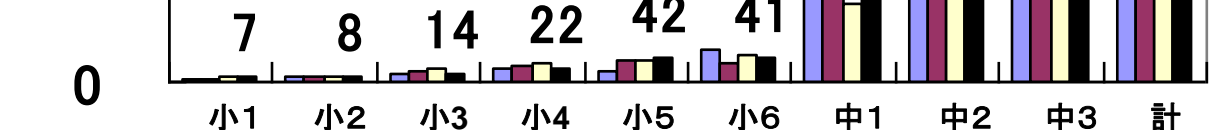
まだまだ安心できる状態とは言えませんので、引き続き「不登校未然防止中学校区プロジェクト」の確実な推進をお願いします。



学年ごとの人数

小学校4年から5年にかけて人数が、2倍になっている。

中学校2年と3年の人数が、大きく減少した。



にいがた教育知図

金津中学校 ～講座制総合的な学習の時間で主体性を育成する～

「人里の自然が先生，地域の人々が先生」というコンセプトで始まった金津中学校の講座制総合的な学習の時間（以下「講座制総合学習」）も，今年で5年目を迎えました。「地域の人に学び，地域文化にふれる活動」を展開する中で，生徒の主体性・自主性が自然に，そして確実にはぐくまれています。

例えば，「金津丘陵の古代の人々の食生活」の講座では地域の人々の指導を受け実際に古代米を栽培し，試食する活動を行っています。また，「金津の草木を学ぶ」講座では，新潟薬科大学の先生から，草木染めの技術を学び，里山の草木染めに取り組んでいます。

今年度は全部で12講座を開設しましたが，どの講座も自分たちで活動計画を立て，探究活動を行っています。

その結果，昨年度末の生徒アンケートで「総合学習は面白くてためになる」と答える生徒の割合は，全生徒の98%，「目標をもち，その実現に取り組んでいる」生徒の割合は77%，「ボランティア活動に積極的に取り組んでいる」と答える生徒は62%と，自主性や主体性が徐々に育ってきています。秋には，地域の人々を招いて総合学習の発表会を予定していますが，その成果が楽しみです。

（文責 秋葉区指導主事 本多 博行）



内野中学校 ～「姿勢」を核に学校づくり～



学校に入ると廊下には，全身を写す「姿見」があり，美しい姿勢の若き日のヘップバーンのポートレートが貼ってある。体育館には理想的な姿勢で立っている若い先生の大きなパネルが掲げられ，そして全教室には正しい姿勢で座っている生徒のポスターが教室の前面に貼られている。学校が目指していることが目でわかる。

また，生徒が正しい姿勢で生活するためのきめ細かな指導も行われている。各教室には「35センチ棒」というものが配られており，机と椅子の背もたれまでの長さが，35cmが美しい姿勢になるというので，その棒を使ってチェックをするのである。また歩き方は，足の薬指を意識し足裏全体を使って歩くと姿勢よく歩けるといのである。更に，背負いカバンのひもが長いと前かがみになるので，ひもを短くしてかつぐよう指導をしている。

内野中が「姿勢」に着目したのは，もちろん見た目の美しさもさることながら，生徒たちは，美しい姿勢をとることで堂々とした自分に自信をもち，その姿勢に相應しい志をもつことに心がけるといのである。素晴らしい着眼であり，さらに「姿勢」を内野中学校区小中連携の共通テーマにしていると聞いてまたすごいと思った。

（文責 西区指導主事 関根廣志）